

# 親の養育態度と幼児の社会道徳性との関係に 関する韓・日比較分析<sup>1)</sup>

## —— 質問紙調査の結果 ——

崔 順子\*・首藤 敏元\*\*

キーワード: 社会道徳性、養育態度、幼児、韓国と日本

### I 問題と目的

幼児において家庭ははじめて経験する社会で、この時期は家庭の親の養育態度の影響が最も大きい時期である。親は子どもに社会の価値と信念を伝達し、行動を形成する時に基礎的な役割を果たす。子どもを社会道徳的に社会化させることはどの時代、どの社会においても重要なテーマであろう(崔順子, 2005)。

本研究の問題意識は 1) 韓国と日本の親の養育態度には差があるか、2) 韓国と日本の幼児の社会道徳性には差があるか、3) 韓国と日本の親の養育態度により、両国の幼児の社会道徳性には差があるか、である。

本研究の目的は、文化的背景が違う韓国と日本の親の養育態度と、幼児の社会道徳性の差を明らかにし、両国の親の養育態度と幼児の社会道徳性との関係を明らかにすることである。

### II 方法

#### 1. 調査協力者

調査協力者は韓国のソウルの幼稚園や子どもの家(日本の保育園に当たる)に通う、年長児 122 名とその親 244 名、東京の幼稚園や保育園に通う年長児 157 名とその親 314 名である。表 1 は調査協力者のプロフィールを示している。

#### 2. 評定尺度

##### 1) 親の養育態度の評定の尺度

Schaefer (1959) による養育態度の Maternal Behavior Research Instrument (MBRI) を李元寧 (1983) が翻訳し韓国で使用した尺度を用いた。韓国と日本の現場の先生との予備的な面接の結果を元に再構成した尺度である。親がそれぞれの質問に対して、4 段階で評定されている。表 2 は養育態度の評定の尺度に要因の構成と要因別の信頼度 ( $\alpha$ ) を表で示したものである。

##### 2) 幼児の社会道徳性の評定の尺度

幼児の社会道徳性の評定のための尺度は森 (1988) が日本全国で幼児の親を対象にして幼児の道徳意識の実態の調査のため使用した内容と、首藤・二宮 (2002) が日本の母親が日常生

<sup>1)</sup> 本研究は平成 16 年度国際交流基金の支援による。

\* 韓国大真大学児童学科

\*\* 埼玉大学教育学部幼児教育講座

表1 親の養育態度と幼児の社会道徳性の評定の調査協力者

幼児の年齢	韓国		日本	
	満5-6歳		満5-6歳	
研究対象	幼児	122名	幼児	157名
	父親	122名	父親	157名
	母親	122名	母親	157名
全体	幼児(279名)	122名		157名
	親(558名)	244名		314名

表2 養育態度の評定の尺度の要因の構成と $\alpha$ 係数

要因	番号	質問数	$\alpha$ 係数
愛情的態度	1, 5, 9, 13, 17, 21, 25, 29, 33, 37	10	.625
拒否的態度	2, 6, 10, 14, 18, 22, 26, 30, 34, 38	10	.603
自律的態度	3, 7, 11, 15, 19, 23, 27, 31, 35, 39	10	.736
統制的態度	4, 8, 12, 16, 20, 24, 28, 32, 36, 40	10	.789
全体		40	.639

表3 幼児の社会道徳性の評定の尺度の要因の構成と $\alpha$ 係数

要因	番号	質問数	$\alpha$ 係数
道徳的領域		30	.835
生命の尊敬	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7		.741
正直	8, 9, 10, 11, 12, 13		.779
乱暴な行動	14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23		.926
分与・協同	24, 25, 26, 27, 28, 29, 30		.764
慣習的領域		27	.935
秩序	31, 32, 33, 34, 35, 36		.926
規則	37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45		.884
礼儀	46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54		.882
節約	55, 56, 57		.876
全体		57	.924

活の中でどのような場面でどのような養育態度を取るかを調査した内容をもとに、予備調査を通して、韓国と日本の幼児教育の現場の先生と

の面接の結果を踏まえて再構成した尺度である。幼児の担任の先生が、幼児の社会道徳的な行動を4段階で評定するようになっている。表

3は幼児の社会道徳性の評定の尺度の構成と信頼度 ( $\alpha$ ) を表で示したものである。

### III 結果と考察

#### 1. 韓国と日本の親の養育態度の差

表4、表5は韓国と日本の親の養育態度の平均と *t* Testの結果を表で示したものである。

表4は韓国と日本の父親の養育態度の平均と *t* Testの結果を表で示したものである。*t* Testの結果、愛情的態度は韓国と日本の父親の養育態度の間に有意な差が見られた ( $p < .05$ )。日本の父親が韓国の父親より、愛情的な養育態度であった。拒否的態度も韓国と日本の父親の養育態度の間に有意な差が見られた ( $p < .05$ )。日本の父親が韓国の父親より、拒否的な養育態度であった。つまり、韓国の父親の方がもっと子どもと親密な関係を持っているといえる。自立的態度でも韓国と日本の父親の養育態度の間に有

意な差が見られた ( $p < .001$ )。日本の父親が韓国の父親より、自立的な養育態度であった。統制的態度でも韓国と日本の父親の養育態度の間に有意な差が見られた ( $p < .001$ )。韓国の父親が日本の父親より、統制的な養育態度であった。

表5は韓国と日本の母親の養育態度の平均と *t* Testの結果を表で示したものである。*t* Testの結果、愛情的態度は韓国と日本の母親の養育態度の間に有意な差が見られた ( $p < .05$ )。日本の母親が韓国の母親より、愛情的な養育態度であった。拒否的態度も韓国と日本の母親の養育態度の間に有意な差が見られた ( $p < .05$ )。日本の母親が韓国の母親より、拒否的な養育態度であった。つまり、韓国の母親の方がもっと子どもと親密な関係を持っているといえる。自立的態度においても韓国と日本の母親の養育態度の間に有意な差が見られた ( $p < .001$ )。日本の母親が韓国の母親より、自立的な養育態度であった。統制的態度でも韓国と日本の母親の養育態度の

表4 韓国と日本の父親の養育態度の平均と *t* Testの結果

要因	韓国	日本	t 値	p
	M (S. D)	M (S. D)		
愛情的態度	2.97 (.34)	3.06 (.33)	2.273 *	.024
拒否的態度	2.24 (.30)	2.33 (.33)	2.247 *	.025
自律的態度	2.69 (.23)	2.80 (.28)	2.366 ***	.001
統制的態度	2.43 (.34)	2.19 (.34)	5.912 ***	.000

\* $p < .05$ , \*\*\* $p < .001$

(拒否的態度と統制的態度は否定的養育態度で平均が低いほど肯定的態度である)

表5 韓国と日本の母親の養育態度の平均と *t* Testの結果

要因	韓国	日本	t 値	p
	M (S. D)	M (S. D)		
愛情的態度	3.13 (.32)	3.32 (.32)	3.076 **	.002
拒否的態度	2.35 (.32)	2.46 (.34)	2.671 **	.008
自律的態度	2.64 (.24)	2.80 (.32)	-4.748 ***	.000
統制的態度	2.48 (.30)	2.20 (.29)	7.657 ***	.000

\*\* $p < .01$ , \*\*\* $p < .001$

間に有意な差が見られた( $p < .001$ )。韓国の母親が日本の母親より、統制的な養育態度であった。

## 2. 韓国と日本の幼児の社会道徳性の差

表6は韓国と日本の幼児の社会道徳性の差を示したものである。

$t$  Testの結果、道徳的領域の全体には韓国と日本の幼児の間には差がみられなかった。しかし要因ごとに見ると、正直と乱暴な行動では有意な差がみられた( $p < .001$ )。また、分与及び協同でも有意な差がみられた( $p < .01$ )。つまり、韓国の幼児の方が日本の幼児より、乱暴な行動な行動を取ってないといえる。また、日本の幼児の方が韓国の幼児より、正直で、分与及び協同の行動を取っているといえる。

一方、慣習的領域の全体では有意な差がみられた( $p < .001$ )。要因ごとにみると、秩序と規則は有意な差がみられた( $p < .001$ )。また、礼儀、節約でも有意な差がみられた( $p < .01$ )。つまり、日本の幼児が韓国の幼児より、秩序と規則を

守って、礼儀正しく、節約をしているといえる。

## 3. 韓国と日本の親の養育態度と幼児の社会道徳性との関係

表7、表8、表9、表10、表11、表12、表13、表14は韓国と日本の親の養育態度と幼児の社会道徳性との関係を示したものである。養育態度の高群と低群は平均を基準に上位25%と下位25%で分けた群である。

韓国と日本の父親の愛情的な養育態度による幼児の社会道徳性の $t$  Testの結果、正直の高群、乱暴な行動の低群、分与及び協同の低群、秩序の低群、慣習的領域全体の高群で有意な差がみられた( $p < .05$ )。また、乱暴な行動の高群、分与及び協同の高群、礼儀の高群、慣習的領域全体の低群で有意な差がみられた( $p < .01$ )。一方、正直の低群、礼儀の低群でも有意な差がみられた( $p < .001$ )。

韓国と日本の母親の愛情的な養育態度による幼児の社会道徳性の $t$  Testの結果、規則の低群

表6 韓国と日本の幼児の社会道徳性の平均と $t$  Testの結果

要因	韓国	日本	t 値	p
	M (S. D)	M (S. D)		
道徳的領域				
生命の尊敬	2.88 (.52)	2.82 (.45)	1.026	.306
正直	3.16 (.47)	3.48 (.44)	-5.820 ***	.000
乱暴な行動	1.66 (.54)	1.35 (.47)	5.117 ***	.000
分与・協同	3.00 (.41)	3.16 (.48)	-2.868 **	.004
道徳的領域全体	2.71 (.26)	2.72 (.25)	-0.293	.770
慣習的領域				
秩序	3.23 (.48)	3.46 (.49)	3.882 ***	.000
規則	2.96 (.47)	3.22 (.49)	-4.298 ***	.000
礼儀	3.04 (.38)	3.35 (.51)	5.467 ***	.000
節約	2.84 (.57)	3.05 (.50)	-3.112 **	.002
慣習的領域全体	3.03 (.40)	3.27 (.41)	4.919 ***	.000

\*\* $p < .01$ , \*\*\* $p < .001$

(乱暴な行動は平均が高いほど肯定的態度である)

表7 韓国と日本の父親の愛情的な養育態度による幼児の社会道德性の平均と t Test の結果

要因	養育態度	韓国 M(S. D)	日本 M(S. D)	t 値	P
生命の尊敬	高	2.92(.59)	2.83(.44)		
	低	2.77(.38)	2.83(.43)		
正直	高	3.23(.43)	3.42(.47)	-2.010 *	.047
	低	3.10(.53)	3.61(.36)	-3.774 ***	.000
乱暴な行動	高	1.63(.48)	1.35(.44)	2.883 **	.005
	低	1.65(.62)	1.27(.47)	2.324 *	.025
分与・協同	高	3.00(.40)	3.24(.44)	-2.703 **	.008
	低	2.93(.45)	3.26(.45)	-2.392 *	.021
道徳的領域全体	高	2.74(.28)	2.73(.24)		
	低	2.64(.22)	2.76(.25)		
秩序	高	3.26(.40)	3.42(.51)		
	低	3.23(.59)	3.54(.39)	-2.116 *	.040
規則	高	2.99(.46)	3.19(.52)		
	低	3.04(.41)	3.24(.42)		
礼儀	高	3.01(.43)	3.34(.49)	-3.283 **	.001
	低	3.02(.41)	3.52(.36)	-4.291 ***	.000
節約	高	2.90(.49)	3.02(.43)		
	低	2.84(.67)	3.17(.44)		
慣習的領域全体	高	3.04(.37)	3.24(.40)	-2.522 *	.013
	低	3.03(.46)	3.37(.31)	-2.877 **	.006

\* $p < .05$ , \*\* $p < .01$ , \*\*\* $p < .001$

表8 韓国と日本の母親の愛情的な養育態度による幼児の社会道德性の平均と t Test の結果

要因	養育態度	韓国 M(S. D)	日本 M(S. D)	t 値	P
生命の尊敬	高	2.89(.60)	2.86(.51)		
	低	2.89(.45)	2.77(.45)		
正直	高	3.11(.52)	3.53(.42)	-3.561 **	.001
	低	3.13(.46)	3.43(.46)	-2.797 **	.007
乱暴な行動	高	1.74(.66)	1.26(.39)	3.631 **	.001
	低	1.64(.48)	1.45(.54)		
分与・協同	高	2.95(.49)	3.12(.46)		
	低	3.09(.32)	3.04(.54)		
道徳的領域全体	高	2.71(.29)	2.73(.27)		
	低	2.73(.23)	2.69(.25)		
秩序	高	3.06(.57) *	3.45(.52)	-2.789 **	.007
	低	3.33(.42)	3.49(.50)		
規則	高	2.83(.52)	3.19(.49)	-2.768 **	.007
	低	2.99(.48)	3.26(.51)	-2.324 *	.023
礼儀	高	2.98(.29)	3.36(.57)	-3.187 **	.002
	低	3.14(.36)	3.26(.56)		
節約	高	2.61(.61)	3.09(.58)	-3.203 **	.002
	低	2.97(.54)	2.96(.55)		
慣習的領域全体	高	2.87(.40)	3.27(.45)	-3.657 **	.001
	低	3.13(.39)	3.24(.46)		

\* $p < .05$ , \*\* $p < .01$

表9 韓国と日本の父親の拒否的な養育態度による幼児の社会道徳性の平均と *t* Test の結果

要因	養育態度	韓国 M(S.D)	日本 M(S.D)	t 値	P
生命の尊敬	高	2.73(.47)	2.82(.40)		
	低	3.19(.54)	2.84(.48)		
正直	高	3.12(.42)	3.46(.45)	-3.595**	.001
	低	3.35(.54)	3.52(.42)		
乱暴な行動	高	1.71(.53)	1.33(.48)	3.573**	.001
	低	1.47(.48)	1.32(.40)		
分与・協同	高	2.93(.41)	3.18(.49)	-2.587*	.011
	低	3.09(.42)	3.35(.33)		
道徳的領域全体	高	2.64(.23)	2.72(.25)		
	低	2.86(.30)	2.78(.23)		
秩序	高	3.23(.45)	3.45(.48)	-2.254*	.027
	低	3.32(.44)	3.47(.49)		
規則	高	2.93(.43)	3.19(.48)	-2.653**	.009
	低	3.17(.46)	3.24(.50)		
礼儀	高	2.95(.35)	3.40(.46)	-5.154***	.000
	低	3.16(.53)	3.38(.48)		
節約	高	2.76(.52)	3.09(.42)	-3.177**	.002
	低	3.15(.54)	3.04(.46)		
慣習的領域全体	高	2.97(.37)	3.28(.37)	-3.999***	.000
	低	3.19(.42)	3.28(.40)		

\**p* < .05, \*\**p* < .01, \*\*\**p* < .001

表10 韓国と日本の母親の拒否的な養育態度による幼児の社会道徳性の平均と *t* Test の結果

要因	養育態度	韓国 M(S.D)	日本 M(S.D)	t 値	P
生命の尊敬	高	2.93(.47)	2.82(.56)		
	低	2.83(.56)	2.81(.39)		
正直	高	3.20(.51)	3.45(.47)	-2.192*	.032
	低	3.02(.44)	3.50(.41)		
乱暴な行動	高	1.59(.46)	1.44(.49)	3.607**	.001
	低	1.79(.67)	1.28(.46)		
分与・協同	高	3.12(.35)	3.02(.59)	-2.171*	.034
	低	2.91(.45)	3.15(.40)		
道徳的領域全体	高	2.76(.25)	2.71(.31)		
	低	2.68(.25)	2.71(.20)		
秩序	高	3.33(.44)	3.42(.49)	-3.221**	.002
	低	3.06(.55)	3.51(.53)		
規則	高	3.08(.47)	3.21(.51)	-4.208***	.000
	低	2.72(.47)	3.24(.49)		
礼儀	高	3.19(.32)	3.30(.57)	-3.290**	.002
	低	2.93(.31)	3.33(.56)		
節約	高	2.87(.62)	2.93(.54)	-2.684**	.009
	低	2.74(.57)	3.13(.58)		
慣習的領域全体	高	3.13(.38)	3.22(.44)	-9.200***	.000
	低	2.86(.40)	3.30(.46)		

\**p* < .05, \*\**p* < .01, \*\*\**p* < .001

表 11 韓国と日本の父親の自律的な養育態度による幼児の社会道徳性の平均と *t* Test の結果

要因	養育態度	韓国 M(S.D)	日本 M(S.D)	t 値	P
生命の尊敬	高	2.98(.56)	2.88(.41)		
	低	2.69(.46)	2.75(.45)		
正直	高	3.31(.45)	3.50(.39)	-2.038 *	.045
	低	3.00(.43)	3.46(.50)	-3.509 **	.001
乱暴な行動	高	1.56(.50)	1.27(.40)	2.951 **	.004
	低	1.76(.55)	1.40(.51)	2.429 *	.019
分与・協同	高	3.02(.41)	3.32(.40)	-3.336 **	.001
	低	2.90(.42)	3.14(.48)		
道徳的領域全体	高	2.77(.28)	2.77(.22)		
	低	2.61(.22)	2.70(.27)		
秩序	高	3.34(.45)	3.53(.42)		
	低	3.12(.43)	3.36(.54)		
規則	高	3.10(.46)	3.28(.44)		
	低	2.86(.38)	3.11(.53)		
礼儀	高	3.12(.44)	3.43(.46)	-3.016 **	.003
	低	2.85(.31)	3.35(.47)	-4.419 ***	.000
節約	高	3.00(.50)	3.11(.43)		
	低	2.68(.58)	3.01(.45)	-2.363 *	.022
慣習的領域全体	高	3.13(.39)	3.34(.35)	-2.465 *	.016
	低	2.88(.35)	3.21(.41)	-3.115 **	.003

\* $p < .05$ , \*\* $p < .01$ , \*\*\* $p < .001$

表 12 韓国と日本の母親の自律的な養育態度による幼児の社会道徳性の平均と *t* Test の結果

要因	養育態度	韓国 M(S.D)	日本 M(S.D)	t 値	P
生命の尊敬	高	2.86(.54)	2.73(.48)		
	低	2.93(.46)	2.90(.47)		
正直	高	3.07(.49)	3.52(.43)	-4.375 ***	.000
	低	3.23(.46)	3.43(.45)		
乱暴な行動	高	1.74(.59)	1.33(.46)	3.439 **	.001
	低	1.58(.51)	1.40(.50)		
分与・協同	高	2.98(.44)	3.13(.55)		
	低	3.12(.33)	3.02(.45)		
道徳的領域全体	高	2.70(.27)	2.69(.27)		
	低	2.76(.23)	2.73(.25)		
秩序	高	3.12(.52)	3.48(.47)	-3.234 **	.002
	低	3.40(.43)	3.46(.55)		
規則	高	2.81(.53) *	3.26(.54)	-3.76 ***	.000
	低	3.13(.37)	3.19(.45)		
礼儀	高	3.04(.35)	3.37(.57)	-3.086 **	.003
	低	3.13(.33)	3.25(.55)		
節約	高	2.76(.62)	3.08(.48)	-2.585 *	.012
	低	2.91(.53)	2.96(.64)		
慣習的領域全体	高	2.93(.42)	3.30(.45)	-3.763 ***	.000
	低	3.17(.35)	3.21(.46)		

\* $p < .05$ , \*\* $p < .01$ , \*\*\* $p < .001$

表 13 韓国と日本の父親の統制的な養育態度による幼児の社会道徳性の平均と *t* Test の結果

要因	養育態度	韓国 M(S.D)	日本 M(S.D)	<i>t</i> 値	P
生命の尊敬	高	2.78(.51)	2.92(.38)		
	低	2.94(.56)	2.77(.46)		
正直	高	3.23(.49)	3.48(.47)		
	低	3.16(.44)	3.48(.43)	-3.254**	.002
乱暴な行動	高	1.58(.51)	1.33(.48)		
	低	1.68(.53)	1.32(.43)	3.332**	.001
分与・協同	高	3.07(.36)	3.19(.46)		
	低	2.90(.45)	3.28(.43)	-3.773***	.000
道徳的領域全体	高	2.69(.26)	2.77(.24)		
	低	2.73(.28)	2.72(.25)		
秩序	高	3.30(.43)	3.44(.51)		
	低	3.22(.47)	3.47(.46)	-2.404*	.019
規則	高	2.97(.50)	3.11(.56)		
	低	3.04(.40)	3.28(.42)	-2.505*	.014
礼儀	高	3.04(.41)	3.40(.47)		
	低	2.99(.42)	3.39(.46)	-3.046**	.004
節約	高	2.87(.62)	3.11(.39)		
	低	2.88(.49)	3.04(.47)	-3.876***	.000
慣習的領域全体	高	3.05(.43)	3.27(.40)		
	低	3.03(.37)	3.29(.37)	-2.016*	.049
				-3.142**	.002

\**p* < .05, \*\**p* < .01, \*\*\**p* < .001

表 14 韓国と日本の母親の統制的な養育態度による幼児の社会道徳性の平均と *t* Test の結果

要因	養育態度	韓国 M(S.D)	日本 M(S.D)	<i>t</i> 値	P
生命の尊敬	高	2.97(.38)	2.82(.53)		
	低	2.85(.56)	2.80(.45)		
正直	高	3.21(.43)	3.43(.44)		
	低	3.08(.50)	3.51(.44)	-4.254***	.000
乱暴な行動	高	1.54(.43)	1.49(.54)		
	低	1.74(.61)	1.28(.43)	4.161***	.000
分与・協同	高	3.09(.29)	3.00(.52)		
	低	3.00(.45)	3.13(.49)		
道徳的領域全体	高	2.76(.21)	2.71(.28)		
	低	2.71(.27)	2.71(.25)		
秩序	高	3.38(.37)	3.45(.55)		
	低	3.14(.54)	3.48(.49)	-3.096**	.003
規則	高	3.08(.36)	3.22(.55)		
	低	2.86(.54)	3.23(.47)	-3.541**	.001
礼儀	高	3.16(.27)	3.28(.56)		
	低	3.03(.36)	3.33(.57)	-2.92**	.004
節約	高	2.94(.47)	2.94(.54)		
	低	2.76(.63)	3.08(.57)	-2.507*	.014
慣習的領域全体	高	3.14(.27)	3.22(.46)		
	低	2.76(.63)	3.08(.57)	-2.507*	.014

\**p* < .05, \*\**p* < .01, \*\*\**p* < .001



で有意な差がみられた ( $p < .05$ )。また、正直の高群、正直の低群、乱暴な行動の高群、秩序の高群、規則の高群、礼儀の高群、節約の高群、慣習的領域全体の高群で有意な差がみられた ( $p < .01$ )。

韓国と日本の父親の拒否的な養育態度による幼児の社会道徳性の  $t$  Test の結果、分与及び協同の高群、分与及び協同の低群、秩序の高群で有意な差がみられた ( $p < .05$ )。また、正直の高群、乱暴な行動の高群、規則の高群、節約の高群で有意な差がみられた ( $p < .01$ )。一方、礼儀の高群、慣習的領域全体の高群で有意な差がみられた ( $p < .001$ )。

韓国と日本の母親の拒否的な養育態度による幼児の社会道徳性の  $t$  Test の結果、正直の高群、分与及び協同の低群で有意な差がみられた ( $p < .05$ )。また、乱暴な行動の低群、秩序の低群、礼儀の低群、節約の低群で有意な差がみられた ( $p < .01$ )。一方、正直の低群、規則の低群、慣習的領域全体の低群で有意な差がみられた ( $p < .001$ )。

韓国と日本の父親の自立的な養育態度による幼児の社会道徳性の  $t$  Test の結果、正直の高群、乱暴な行動の低群、節約の低群、慣習的領域全体の高群で有意な差がみられた ( $p < .05$ )。また、正直の低群、乱暴な行動の高群、分与及び協同の高群、礼儀の高群、慣習的領域全体の低群で有意な差がみられた ( $p < .01$ )。一方、礼儀の低群で有意な差がみられた ( $p < .001$ )。

韓国と日本の母親の自立的な養育態度による幼児の社会道徳性の  $t$  Test の結果、節約の高群で有意な差がみられた ( $p < .05$ )。また、乱暴な行動の高群、秩序の高群、礼儀の高群で有意な差がみられた ( $p < .01$ )。一方、正直の高群、規則の高群、慣習的領域全体の高群で有意な差がみられた ( $p < .001$ )。

韓国と日本の父親の統制的な養育態度による幼児の社会道徳性の  $t$  Test の結果、秩序の高群、規則の低群、慣習的領域全体の高群で有意な差がみられた ( $p < .05$ )。また、正直の低群、礼

儀の高群、慣習的領域全体の低群で有意な差がみられた ( $p < .01$ )。一方、分与及び協同の低群、礼儀の低群で有意な差がみられた ( $p < .001$ )。

韓国と日本の母親の統制的な養育態度による幼児の社会道徳性の  $t$  Test の結果、節約の低群、慣習的領域全体の低群で有意な差がみられた ( $p < .05$ )。また、秩序の低群、規則の低群、礼儀の低群で有意な差がみられた ( $p < .01$ )。一方、正直の低群、乱暴な行動の低群で有意な差がみられた ( $p < .001$ )。

#### IV まとめ

本研究では 1) 韓国と日本の親の養育態度には差があるか。2) 韓国と日本の幼児の社会道徳性には差があるか。3) 韓国と日本の親の養育態度により、両国の幼児の社会道徳性には差があるかを質問紙調査で検討した。

その結果、韓国と日本の親の養育態度は、日本の親の方が愛情的態度、自律的態度、統制的態度においては肯定的な態度を示していた。しかし、拒否的な態度においては否定的な態度を示していた。

また、韓国と日本の幼児の社会道徳性においては、道徳的領域の全体には韓国と日本の幼児の社会道徳性には有意な差がみられなかったが、生命の尊敬と乱暴な行動では韓国の幼児の方がより高く、正直と分与及び協同では日本の幼児の方がより高い結果を示していた。慣習的領域では日本の幼児の方が高い結果を示していた。

\* 一方、韓国と日本の親の養育態度により、両国の幼児の社会道徳性は愛情的態度、拒否的な態度、自律的態度、統制的態度のすべての親の養育態度で有意な差がみられた。

#### 引用文献

崔 順子 (2005) 日本の幼児期の社会道徳性の発達に関する研究動向の検討。日本学報 62、337-

- 346.
- 首藤敏元・二宮克美 (2002) 幼児と母親のつくりだす日常の社会道徳的文脈. 埼玉大学紀要教育学部 51(1)、29-39.
- 森 重敏 (1988) 幼児期における道徳意識の発達に関する調査研究. 創価大学教育学部論集 24、61-101.
- 李 元寧 (1983) 母親の子ども教育観及び養育態度と幼児発達との関係性の研究. 梨花女子大学教育学大学院博士論文.
- Schaefer, E.S. (1959) A circumplex model for maternal behavior, *Journal of Abnormal Social and Psychology*, 226-235.
- (2005年3月31日提出)
- (2005年4月11日受理)

The relationship of the child-rearing methods of parents and  
the socio-moral development of children

— A comparative study of Korea and Japan —

Soonja CHOI and Toshimoto SHUTO

It is clear that children environment is more important than genetic facts for their development based on a number of psychological studies. In the stage of children development, the methods of parents have lots of effects because it's family is center for daily activity. Therefore, this study is focused on the relationship of the rearing methods of parents and the socio-moral development of children. One hundred twenty two children and 244 parents with children in the age of 5 to 6 at various nurseries in Seoul city, and 157 children and 314 parents with children in the age of 5 to 6 at various nurseries in Tokyo city were participated. Two tools were used for this study that evaluated the methods of the rearing methods of parents and the socio-moral development of children. Some cultural commonalities and diversities were found.